

あいぽーと通信

令和7年
(2025)
12月発行
第75号

トピックス
Topics

- 令和7年度 人権教育啓発リーダー養成講座(後期)第5回「聞こえないから見える世界」
- あいぽーと徳島 同和問題講演会「このまちが好きなことから被差別の歴史をもつ地域に生まれて～」
- あいぽーと施設見学「あいぽーとスタディ」
- 障がい者問題学習
- あいぽーと徳島情報

あいぽーと徳島では、人権に関するさまざまなイベントを開催しています。

特集

令和7年度 人権教育啓発リーダー養成講座(後期)第5回
テーマ… 障がい者の人権
演題… 聞こえないから見える世界

「聞こえない」に 意識を向ける

120年前のメジャーリーグには、耳が聞こえないにもかかわらず2000本安打を達成したダミー・ホイという選手がいました。当時のメジャーリーグでは審判が声だけでジャッジしていましたが、ある時、際どい投球に審判は「ストライクバッターアウト」と声を張り上げたのに対し、ダミー・ホイにはその声が聞こえずフオアボールだと思つて二塁に歩き出しました。それを見た両軍のベンチからは笑い声が上ります。彼は試合後に審判団と掛け合い、それがきっかけとなり審判はアウトやセーフのジャッジにジェスチャーがつかうようになり、結果として観客にもジャッジが分かりやすくなりスポーツビジネスが盛んになったとも言われています。

このお話を聞いて、僕は多様性の素晴らしさを感じました。人はみんな一人ひとり違う、でもそこに気づきが起つて生まれたことが、この人間社会の中にはいっぱいあるんだなと

思うからです。

「CODA(コード)」という言葉をご存じでしょうか。僕も18歳の時に初めて自分がコードであるということを知りましたが、CODAとはChildren of Deaf Adults、つまり耳が聞こえない、または聞こえにくい親のもとで育った、耳が聞こえる子どものことです。両親とも耳が聞こえない環境で育った私にとっての母語、つまり母親に教えられた最初、自然獲得した言葉は手話で、今話している日本語は祖母に教わったものです。

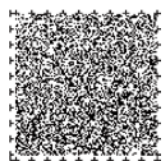
ヘレン・ケラーが残した言葉に、こんなものがあります。「見えないことは物からの孤独、聞こえないことは人からの孤独である」。周囲が自分と同じ人間ばかりだったら、コミュニケーションなどはいらないかもしれない。でも人間社会は一人ひとり違うんですから、同じものを見ても違うことを考えるのは僕たち人間社会のごくごく自然の摂理であり、コミュニケーションとは共同作業なんです。

変わりゆく 聴覚障がいの認識

聴覚障がいとは知的障がいではありません。昔は目が見えなかつたり耳が聞こえなかつたりすると医師にはなれませんでした。2003年に医師法が改正されたことで現在では聴覚障がいのあるお医者さんもいます。その他にも弁護士、スポーツ選手もいます。つまり環境さえ整っていれば、聞こえる人と対等に渡り合うことができるんです。しかしその環境が得られないという問題が非常に深刻なのが、この聴覚障がいの世界です。

とある小学生の女の子が交通事故にあって亡くなった事件の裁判がありました。そこでは「耳が聞こえない障がい者は健常者よりも逸失利益は少ないから、補償金も少なくてもいいはず」という主張がありました。命の値段と呼ばれて、メディアにも取り上げられていました。結果と

中へ続く



(音声コード)

講師… 尾中 友哉さん
おなか ともや
NPO法人 Silent Voice 代表理事
令和7(2025)年10月30日開催

あいぽーと徳島情報

あいぽーと通信 75号

令和7年度あいぽーと徳島「人権教育啓発・男女共同参画の推進」啓発行事

清水健さん 講演会

～大切な人の思いとともに今できること～

日時 令和8(2026)年1月24日(土)
13:30～15:00

会場 パーク テレコメディア
(徳島県立男女共同参画総合支援センター)
2階テレコメディア ホール
徳島市山城町東浜傍1-1(アスティとくしま内)

講師 清水 健(しみず けん)さん 定員 142名
フリーアナウンサー

参加費
無料

申込
必要

応募締切
1月8日(木)
必着



申込みフォーム

令和7年度あいぽーと徳島 第3回県民講座

地域でつなぐ子ども達の未来

～不登校支援の現場から～

日時 令和8(2026)年2月7日(土)
13:30～15:00

会場 あわぎんホール 4階 会議室2・3・4
(徳島市藍場町2丁目14番地)

講師 水取 博隆(みづとり ひろたか)さん
特定非営利活動法人キリンこども応援団 代表理事

定員 80名

参加費
無料

申込
必要

応募締切
1月29日(木)
必着



申込みフォーム

あいぽーと徳島 第2回特別展示

外国人と人権 パネル展

～多文化共生、みんなが
住みよい社会を築くために～

日時 令和8(2026)年
2月21日(土)～3月22日(日)
10:00～18:00
※休館日:月曜日(祝日の場合はその後の直近の平日)

会場 あいぽーと徳島 展示・交流スペース
徳島市東沖洲2丁目14(沖洲マリンターミナルビル1階)

入場
無料

講演会をホームページでご覧いただけます。 配信中

第10回配信講座 男性の家庭進出のいま



講師 前田 晃平さん
(まえだ こうへい)
特定非営利活動法人
フロレンスマネージャー



YouTube

第11回配信講座 かすかなSOSへのアンテナ、
小さな願いごと 生きるスペース



講師 村上 靖彦さん
(むらかみ やすひこ)
大阪大学人間科学研究科 教授 ほか



YouTube

主催・問い合わせ: あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター) Tel.088-664-3719 ホームページ <https://www.aiport.jp/>

人権相談のご案内

あいぽーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。

Tel.088-664-3701

(徳島県多文化共生・人権課分室)
※相談日は都合により、変更される場合があります。

一人で
悩まず
お電話を

- 人権擁護委員による相談
- 弁護士による相談(要予約)
- 弁護士によるインターネット
上の人権侵害相談(要予約)

第2・第4土曜日(10:00～16:00)
(12:00～13:00を除く)

第1・第3金曜日(13:00～16:00)

偶数月の
第2金曜日(13:00～16:00)

面接相談及び電話相談

面接相談

面接相談

[編集・発行]

あいぽーと徳島

徳島県立人権教育啓発推進センター

指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727
E-mail:info@aiport.jp

あいぽーと徳島 検索 <https://www.aiport.jp>

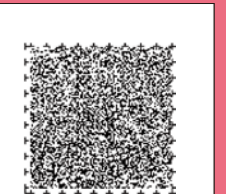
●開館時間/午前10時から午後6時まで

●休館日/月曜日(祝日の場合はその後の直近の平日)・年末年始(12月29日から1月3日まで)

●公共交通機関のご案内 JR徳島駅前から徳島市営バス⑥番のりば・徳島バス[中央市場線]に乗り、[沖洲マリンターミナル]にて下車。



お車を利用の場合、ビル西側駐車場の「あいぽーと徳島」と表記のある赤いコーンの場所に駐車してください。満車の場合は、ビル北側の県営有料駐車場をご利用ください。●3時まで200円



(音声コード)

令和7年11月9日(日)「あいぽーと徳島 同和問題講演会」を開催しました。

このまちが好きだから ～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～

講師: 藤尾 まさよ(ふじお まさよ)さん
崇仁発信実行委員会代表

『人権学習は幸せの学習』人権学習は幸せに生きるための考え方と行動のしかたを教えてください。自分が自分として幸せに生きるために、人が人として幸せに生きるために、誰もが人として幸せに生きるために必要な学び、それが人権学習です。

人権学習を受ける前、私は「自分は差別をしない」と思っていました。それは、私は差別される側の人間だから、差別するはずがないと思っていました。でも、47歳の時にはじめて部落問題の人権学習を受けて、その考えは間違いだと気づきました。人権学習をするきっかけは、中学校PTA役員の時に、卒業生が高校で同級生から部落差別を受ける事件があったことです。その話を聞いた15歳の中学生が言ったのが「僕らがどんなに頑張ってもあかん。どうせ(社会は)認めてくれへん。」でした。この言葉は自分の人生を捨てる言葉です。なぜ、たった15歳の子がこの言葉を言わなければならなかったのか。誰もが生まれた時には差別の考えは持っていません。差別発言をした子もそうです。問題を起こした子だけを責めるのではなく、その差別の言葉はどのようにしてその子の中に入ったのか、それを問題だと考える必要があると思います。

この差別事象がきっかけになり、「PTA同和問題学習会」を立ち上げ、これから統合する5校の保護者と一緒に人権を学ぶ場を作りました。学習内容は生徒の授業と同じものを受けました。子どもと保護者が同じ人権学習を受けることにより、部落問題を同じ目線で話せること、子どもが学校で学んだ内容が保護者の考えでひっくり返されることがなくなり、家庭で理解が進みました。

そして、人権を学んで分かったことは、「知らない・知ろうとしない、教えない・教えようとしなない、関わらない・関わろうとしない」、これ、しないしなないと言っていますが、何もしていない訳でなくて、学習しないことによって、間違った情報や差別や偏見を伝え残す行動を起こしているということなのです。

学習することで自分の中にある間違った考えや行動に気づくことができ、気づくことができたから改善していけます。そうして改善をくり返すことで心地よく人と関わることができるようになるのだと思います。

偏見や差別の考えは、誰でも身体の中にあります。自分の中にどんな情報、どんな考えが入っているか、人権学習をしてよりよく変えていくことが大切だと思います。部落差別の考えは今も社会の中にあります。知ろうとしないと人を差別し傷つけ、残酷なことをしている自分に気づけません。差別は時として人の命も奪います。人権学習を積み重ねることで、自身の中にある偏見や差別の考えに気づき、差別を繰り返さない、そして、決して人の命を奪うことのない生き方ができるのではないのでしょうか。

人権学習を重ねて、誰もが人として幸せに生きて欲しいと願っています。

あいぽーと施設見学・あいぽーとスタディ

あいぽーと徳島にて、施設見学と人権学習をされました。



▲令和7年10月29日

阿南市人権教育協議会宝田支部のみなさん



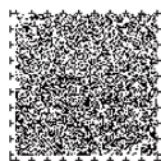
▲令和7年10月30日

岡山県総社市人権教育推進協議会のみなさん

障がい者問題学習

あいぽーと徳島にて、車いす・アイマスク体験をし、障がい者問題についての学習をされました。

令和7年9月26日
橘小学校4年生のみなさん▶



(音声コード)

■できることを
差し出し合って

聞こえる人と聞こえない人は、どう付き合っていくべきなのか。これを皆さんに伝えるために、私の生い立ちについてお話ししようと思います。友だちと一緒に小学校から帰る途中にある家のおばちゃん、僕だけ



を呼んで、クッキーをくれたこととがよくあります。なぜなら、僕は「かわいそうな家の子」と見られていたからです。僕が生まれて以来、両親は僕の声を一回も聞いたことがありません。でもそれが悲しいかと言われると、それが僕にとっての当たり前なんです。両親の耳が聞こえないから60%しか幸せを感じられないのではありません。持って生まれたものが僕にとつての100%なんです。確かに難しいこともありましたが、僕が保育園に入った時、他は聞こえる家庭で育った子ばかりですから、家庭でほとんどのコミュニケーションを手話でやってきた僕は、どうやって友だちと喋ったらいのか戸惑ったことを覚えています。それでも6歳か7歳くらいになった時、手話と日本語という2つの言語を持つ僕には、父や母と他の人をつなぐ通訳の仕事ができるようになります。逆に僕にできないことは両親が進んでやってくれました。お互いのできること差し出し合って生きてきたから、うちの家族は幸せに続いてきたんだな、とも思います。

「耳が聞こえない」不幸ではないんです。幾通りもの人生があつて、その人の聞こえないことへの捉え方があります。私は聞こえる人として、聞こえない人を取り巻く環境の一部として関わっていききたいなという考えを持っています。手話とは、独立したひとつの言語です。よく勘違いされるのですが、動画などの説明に字幕を添えるだけでは、手話を第二言語としている子どもなどへのケアとしては不十分です。他にも会話の抑揚で伝わる重要なポイントなどが、全部同じ大きさ、太さ、色で書いてある文書では伝わりにくかったりします。こういうことは、聞こえる人の立場だけで考えても想像するのは難しいことですね。健常者から障がい者への矢印ではなくて、むしろ障がい者から健常者への矢印を作っていた方がいいなと思うんです。それを取り組んでいくことによつて「こういうことに困っているんだ」、「こういうことから対等意識を持てない」そういうことが必ず分かると思います。これからの時代、どんどんAIやロボットが進歩していつて、障がい者雇用の仕事は本当に残っていくのか、そんな不安さえよぎります。どうか聞こえない人のできないところだけを見るんじゃなくて、できることを見ていただきたいですし、そのためには相手を分かろうとすることが大事で、これは技術よりも、皆さんの心にかかって



講師プロフィール 尾中 友哉(おなか ともや)さん NPO法人 Silent Voice 代表理事

1989年滋賀県大津市生まれ。ろう者の両親のもと聞こえる子ども(コーダ)として育ち、母語である手話を身につけ、徳島の祖母に日本語を教わった。

聴覚障害のある子どもたちが自分らしく生きる社会を目指し、教育と就労の両面から支援を行う。主な事業に「デフアカデミー」「サークルオー」「デフビズ」がある。2018年日本青年会議所主催 人間力大賞 内閣総理大臣奨励賞、2019年日本財団主催 ソーシャルイノベーションアワード最優秀賞受賞。



(音声コード)